

こんどは南関東？ さあ どうしよう

確認しようあなたの行く場所・避難場所

1. まず第一に人命救助と火のしほつ
2. 火災の危険が迫った場合、一時集合所へ
3. 様子をみて 集団で広域避難場所へ
4. 被災者は避難所の小中学校で生活にはいる。

- ㊦ 用賀小学校
- ㊧ 用賀中学校
- ㊨ 京西小学校
- ㊩ 自由丘生花市場
- ㊪ 用賀児童遊園
- ㊫ 畑(玉川台2-39)
- ㊬ 住友スリーエム
- ㊭ フラワーランド
- ㊮ 畑(瀬田5-12)
- ㊯ 聖アントニオ神学校



— 担当、鈴木(堅) —

用賀出張所地区

ミニコミ紙

平成7年3月20日

関東大震災の思い出

瀬田 竜

大正十二年九月一日は、

京西小学校で二学期の始業式を終えて帰宅。皆で昼食を始めた途端、ゴゴゴという音と共に家が飛び上ったかと思ったら、グラグラカタカタ、高い所から物が落ち、板戸が倒れた。父親が「危ないから外に出ろ」と大声で叫んだので、兄や姉について裏の竹山へ行こうとしたが腰がくだけて動きがとれない。まるで遊動円木に乗っているよう。漸く皆と一緒に戻ったが、父母の姿が見えない。まだまだ地震が続いている。トーちゃん、カーちゃんと言で呼んだら、裏口の所で



妹を抱いて二人で座っていた。マレマレ無事でよかった。まだ余震は続いている。これでは家の中に入れない。暫くの間竹山で寝を敷き、蚊帳を吊り寝起きすることになった。暑くなく寒くなく夜営の気分を味わった。夜になると南と東の空が真赤に染まり、東京の下町と横浜が大火だという。翌日になると表通りを、避難した人達が大量通った。二日には流言蜚言が飛び、女子供は外出禁止、大人は警備で夜通しで寝られなかった。

地震、雷、火事、親父と言いつれど、今度の阪神大震災で、やっぱり地震が一番怖いことが証明された。(当時京西小学校四年生)

トビックス

Y 苗木配布

三月二十六日(日) 十時より

用賀四丁目くすのぎ公園

(SBS 北側駐輪場横)

樹種 ハナズオウ、サツキ、

キンカン、コノアカシワ、

クルメツツジ 各100本

花みずき、フエス、ディパル

四月二十九日(みどりの日)

兵庫島河川公園(今年から

会場が変わります)

環八立体歩道橋

上野阿部ホール横から

砦公園へ環八をまたぐ歩道

橋は、用賀アトムナードや

美術館とマッチしたデザイン

です。愛称募集も終り、

六月初旬開通の予定です。



あの壊滅的な阪神大震災から二ヶ月、未だく復旧には時間がかかりそうです。初期消火の大切さを身近にみて、良い教訓になりました。

我がまちにも、市民ボランティアの発案で訓練、消防団員の地道な活動がある事を知り、心強い限りです。身の廻りをもう一度総点検しておきましょう。

春が来た
年更替わり
夢をもち
希望をもって
心機一転
前向きに歩こう



(鈴木堅)

筆耕、カット 折原